Weekly Paper ◆ Suisan Shinbun
週刊 水産新聞
平成21年（2009年） 6月8日
第557号 毎週月曜日発行
発行所／株式会社 水産新聞社
〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目9番地1 エコネットビル5階
電話(011)210-5073 FAX(011)210-0947
（平成10年2月25日第三種郵便物認可）
URL:http://www.suisan.jp/ E-mail:sapporo@suisan-np.co.jp

紙面
❷紋別タコ好漁
❸道南スルメイカ解禁
❻企業戦略・サポートフーズ
❽宮城ホヤ新疾病拡大
❾海藻塩漬けに新装置
⓮オ海ホタテ本操業スタート

山脈が育む豊かな海の宝

日高昆布の魅力発信

様似町でフォーラム

うま味と食感、前面に 都市部・世界にPRを

日高昆布の魅力と可能性について語る（左から）坂下一幸・様似町長、二宮くみ子・UIC理事、四ツ倉典滋・北大助教、奥井隆・奥井海生堂社長。下は講演に聴き入る約200人の参加者（5月30日、様似町中央公民館文化ホール）

木下好和副町長

向井進副組合長

野呂田隆史支庁長

コンブ漁のいでたちで開会あいさつする坂下町長

日高昆布の魅力を再認識し国内外に発信するフォーラム（実行委員会主催）が5月30日、様似町中央公民館文化ホールで開かれた。昨年に続く2回目で、約200人が参加。講演やパネルディスカッションを通じ、日高山脈からしみ出す豊かな栄養に育まれたコンブのうま味と食感を前面に都市部や世界へのPRの道を探るとともに、貴重な資源を保持することの重要さも再認識した。

（講演要旨など関連記事15面に）

午後1時、磯舟と段昆布が配置されたステージにはカモメの鳴き声と朝もや。サイレンが鳴り、赤旗がするすると揚がった。「おーい、旗があがったぞー！」の声とともに船外機の音がとどろく。

早朝の一斉出漁が演出される中、実行委会長の坂下一幸様似町長がねじり鉢巻きに救命衣、腕・腰・ひざにサポーターというコンブ漁のいでたちで登場。会場の雰囲気をさらに盛り上げ「地域固有種の日高昆布の魅力と限りない可能性をさぐろう」と開会を宣言。

来賓の野呂田隆史日高支庁長は「管内水産資源の主力であるコンブの新たな需要を喚起し、地域活性化を図りたい」とあいさつした。

二宮くみ子・NPO法人うま味インフォメーションセンター（UIC）理事と四ツ倉典滋・北大北方生物圏フィールド科学センター助教の2人が基調講演。その後、2講師と坂下町長、福井県敦賀市から参加の奥井隆・㈱奥井海生堂社長の4人をパネリストに、会場と意見交換した。司会は木下好和・様似町副町長が務めた。

「日高昆布の差別化・付加価値向上を、どう図るか」という会場からの問いに、奥井社長は「舌で感じる味覚以外に、気候や風土などの産地特性を発信すべき。民間の力は限られており、3単協と行政が協力し『日高昆布街道』を、最大消費地である東京に向けてPRしては」と提言。

坂下町長は「襟裳岬のブランド力や〝道内唯一の山脈〟の特性を生かしたい。アポイ岳のかんらん岩は鉄分やマグネシウムなどミネラル豊富で磯焼けを防いでいる。遠赤外線を発するといわれることもセールスポイント」と述べた。

資源管理の重要さ再確認／来年、札幌開催へ／知名度向上と販路拡大を

これに対し、四ツ倉助教は「森林と耕地、海のつながりを理解しPRする、モデル地区になれるのでは」と期待を示した。

「海外の和食ブームの中での日高昆布の価値と今後の方向性は」との司会の問いに、二宮理事は「昆布のうま味は普及しつつあるが、品種の違いまで認識されていない。海外では〝だし〟への興味にとどまっており、今後は〝食べる〟という方向に可能性が開ける。そのためにも、料理職人に日高の良さを浸透させたい」と答えた。

奥井社長は「過去3年間、パリで昆布を紹介している。日高のだしは、シェフの味覚に直接響きにくいのが現状だが、昆布巻きは『チーズに似たコク』と興味を持たれた。軟らかく肉厚でおいしいことを紹介すれば、必ず受け入れられる」と、心強い回答を述べた。

閉会にあたり、実行委副会長の向井進・日高中央漁協副組合長があいさつ。「来年は札幌で開催し、知名度向上と販路拡大を図りたい。生産者・漁協・業界・行政の、一層の協力体制を」と呼びかけた。

ホール外には昆布料理試食、商品展示販売、パネル・漁具展示の各コーナーが設けられ、講演などの合間に多くの人でにぎわった。

祝 日高昆布フォーラム2009inさまに の御盛会をお喜び申し上げます

創業明治四年。大本山永平寺・大本山総持寺御用昆布所として、のれんの味を守り続けております。

■ 業務：高級だし昆布、各種原藻昆布
■ 小売：各種だし昆布、手すきおぼろ昆布、佃煮昆布
他加工昆布各種

ご家庭用からご贈答用まで幅広く取り扱いいたしております。

大本山永平寺御用達 大本山総持寺御用達
御昆布司
奥井海生堂

【カタログ全国無料発送】
奥井海生堂 検索

神楽本店／〒914-0063 福井県敦賀市神楽1丁目4-10
金ケ崎本社工場／〒914-0072 福井県敦賀市金ケ崎9-10
TEL 0770-22-0493㈹ FAX 0770-22-6780
フリーダイヤル 0120-520-091 ホームページ www.konbu.co.jp

職人が一片一片削り込む「手すきおぼろ昆布」。敦賀は、全国一の手すきおぼろのシェアをもちます。

東京・東北支社：TEL(046)298-3020 釧路支局：TEL(0154)41-4286
東北・北陸支局：TEL(025)381-7338